

# 性の多様性について考える～当たり前を見直すことから～

LGBTという言葉、聞いた事がありますか。右記の頭文字をとった、性の在り方を表す言葉です。

これまで多くの人は、「からだの性」と「こころの性」が一致すること「異性を好きになること」を当たり前と考えてきましたが、本来、性の在り方は、多様であり、生涯にわたり流動的なものです。

- ㉒ レズビアン 女性として女性が好きな人
- ㉓ ゲイ 男性として男性が好きな人
- ㉔ バイセクシャル 同性を好きになることも、異性を好きになることもある人
- ㉕ トランスジェンダー からだの性とこころの性が一致しない人

## 性の要素はいろいろ

### からだの性

身体的な特徴や  
性遺伝子などに  
もとづく性

### こころの性

自分自身が  
認識している性

### 好きになる性

恋愛や性的興味  
の対象となる性

### 表現する性

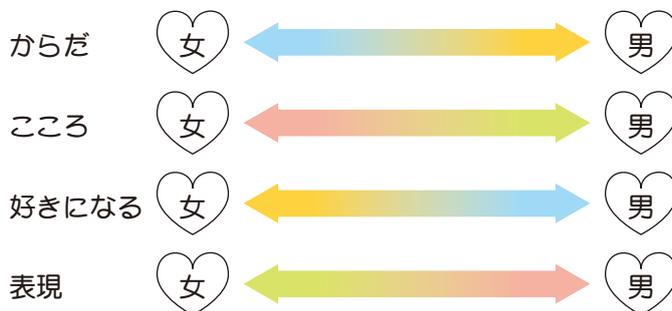
服装、言動などで  
表現される性

「からだは女性として生まれ、こころも女性」「からだは男性として生まれ、こころは女性」「異性を好きになる」「同性を好きになる」これら全てが、ごく自然なことです。

しかし、からだとこころの性が一致しないことや、同性を好きになることが、「当たり前」とみられないことに、苦しんでいる人がいます。

私たちの性はさまざまです。「女」と「男」にはっきり分けられるものではなく、右図のように、人それぞれ、性もそれぞれなのです。

### 自分の性について考えてみよう



### 小・中学校でも、性の多様性について学習しています

小郡市内の小・中学校でも、LGBTの当事者を招いて、子どもたちや教職員、保護者が話を聞いています。また、保健や道徳の中でも、性の多様性について学習を行っています。



#### 学習した子どもの感想

まわりの人が、その人のことを認めるということが大切だとわかりました。その人のことを認めるために、きちんと性のことを知って行動することが大事だとわかりました。



当事者の声をきっかけに、自治体や企業の取組が進むなど、社会が少しずつ変わりつつあります。性の多様性について学んでいくことが、誰もが自分に尊厳をもって、自分らしく生きていくという当然の権利を保障することにつながるのではないのでしょうか。

誰もが、自分らしく、ありのままの自分で生きられる社会に